2025年1月時点

① 勤務医師数：

常勤医師数

産婦人科医師数（2） 麻酔科医師数（0） 合計（2）

② 分娩取扱実績：

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年\* |
| 総分娩数 |  | 108 | 215 | 253 | 230 |
| 経腟分娩 |  | 81 | 155 | 167 | 137 |
| **無痛分娩（%）** |  | **18(17)** | **60(28)** | **90(36)** | **98(43)** |
| 非無痛分娩 |  | 63 | 95 | 77 | 39(17) |
| 帝王切開 (%) |  | 27(25) | 53(25) | 86(34) | 93(40) |

**＊2024年1～12月で、無痛分娩による経腟分娩は43%、**

**無痛分娩から帝王切開になったものは7名で、92%で経腟分娩が可能であった。**

③ 無痛分娩に関する対応方針とマニュアル等の整備状況：

妊産婦の本人希望による無痛分娩の受入の有無：本人希望を適応として対応する。

また、医療的適応（高血圧、極度の疲労など）にも行う。

無痛分娩の導入対象：原則として自然陣発後に常時対応する。

鎮痛の方法：硬膜外麻酔

無痛分娩の説明と同意書：ホームページに掲載　https://fukiage-mclinic.jp

最終更新日　2024.2.15

無痛分娩に関する設備及び医療機器の配備状況：

1. 麻酔器
2. AED
3. 母体用生体モニター（心電図・非観血的自動血圧計・パルスオキシメータ等）

iv. 　　蘇生用設備・機器（酸素配管・酸素流量計・バッグバルブマスク・マスク・喉頭鏡・気管チューブ（6.5F）・スタイレット・吸引装置・吸引カテーテル

v. 　　緊急対応用薬剤（アドレナリン・エフェドリン・ネオシネジン・静注用キシロカイン・ジアゼパム・プロポフォール・硫酸マグネシウム・静注用脂肪乳剤・乳酸加リンゲル液・生理食塩水、代用血漿）

急変時の体制：

自施設での一次対応後、他施設との連携体制で対応する

・医療スタッフのJCIMELSの蘇生法講習会　2名

新生児蘇生法講 習会（NCPR）受講状況 9名

・他施設との連携

1. 重症母体搬送先医療機関名 名古屋第二赤十字病院、名古屋市立大学病院

搬送方法　救急車

1. 重症新生児搬送先医療機関　名名古屋第二赤十字病院、名古屋市立大学病院

搬送方法　救急車

④危機対応シミュレーションの実施とその内容：

2022.2.26.全脊椎麻酔を学習し、シナリオに基づきシミュレーションを行った。参加者　助産師・看護師・事務職員

2022.5.7 分娩時大量出血症例の振り返りとシミュレーション（産後の持続バイタルモニタリングチェックの遵守とショックインデックス）を行った。参加者　助産師・看護師・事務職員

2022.8.27 子癇症例の振り返り、分娩時の血圧測定の見直しと子癇の対応をシミュレーション実習した。分娩時大量出血後の対応について改善を加え、シミュレーション実習した。参加者　助産師・看護師・事務職員

2022.10.22 成人と新生児の呼吸蘇生のシミュレーション実習をした。参加者　助産師・看護師・事務職員

2022.11.19 アナフィラキシーショックのシミュレーション実習をした。参加者　助産師・看護師・事務職員

2022.12.17 日本産科麻酔学会報告を行った。経会陰超音波のシミュレーション実習をした。参加者　助産師・看護師・事務職員

2023.5.20無痛分娩勉強会 症例検討

参加者　助産師・看護師・事務職員

2023.6 17　無痛分娩勉強会 症例検討

参加者　助産師・看護師・事務職員

2023.7.13 NCPR　Bコース開催

参加者　助産師・看護師・事務職員

2023.7 29　無痛分娩勉強会 症例検討

参加者　助産師・看護師・事務職員

2023.8.24 NCPR　Sコース開催

参加者　助産師・看護師・事務職員

2024.5.20-31

参加者　助産師・看護師・事務職員

手術の準備とその対応

適宜、試験形式で、講習を行った。

2024.6.24

診療日は毎朝、申し送り時に10分間のミーティングを行い、その中で適宜、症例の振り返りを行っている

2024.8.11 緊急時の対応　母体急変

参加者　助産師・看護師・事務職員

2024.10.5 愛知県産科婦人科学会地方部会で児の酸素飽和度連続測定について発表した。

2024.10.8 地方会の報告を行った。

⑤無痛分娩麻酔管理者について：

「無痛分娩麻酔管理者」：氏名鈴木佳克

所有資格：日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・日本専門医機構認定産婦人科専門医

無痛分娩実施歴

実施施設名 一宮市立市民病院　実施期間 1989年4月1日~1990年3月31日　無痛分娩症例数20、国立浜松病院　1994年4月1日~1995年5月31日　無痛分娩症例数10、吹上マタニティクリニック 2020年10月1日~2022年12月31日　硬膜外麻酔経験症例数 85

麻酔科研修歴：

研修施設名　一宮市立市民病院　・研修期間　1988年4月1日~1989年3月31日・全身麻酔経験症例数　50・硬膜外麻酔経験症例数 10

麻酔実施歴：

実施施設名 一宮市立市民病院・実施期間 平成1年4月~平成3年3月31日・全身麻酔経験症例数　100・硬膜外麻酔経験症例数 30、国立浜松病院　1988年4月1日~1994年3月31日・全身麻酔経験症例数　20 硬膜外麻酔経験症例数 30、名古屋市立西部医療センター、2010年4月1日~2015年6月30日 全身麻酔経験症例数　40、吹上マタニティクリニック 2020年10月1日~2024年12月31日　無痛分娩硬膜外麻酔経験症例数 266

講習会受講歴：

「安全な産科麻酔の実施と安全管理に関する最新の知識の修得及び技術 の向上のための講習会」の受講歴： JALA カテゴリーA 2021年12月6日

「産科麻酔に関連した病態への対応のための講習会」の受講歴： JCIMELS　 2021年12月6日

「救急蘇生コース」の受講歴：JCIMELS　ベーシックコース、NCPR Iコース

⑥麻酔担当医について：

「麻酔担当医」の氏名 山本珠生　常勤

所有資格：日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・日本専門医機構認定産婦人科専門医

無痛分娩実施歴

実施施設名 マタニティクリニック 2020年10月1日~2024年12月31日　無痛分娩硬膜外麻酔経験症例数 266

研修施設名　名古屋市立大学病院　研修期間　指導医　勝屋弘忠　2001年1月1日~2001年3月31日・全身麻酔経験症例数　50・硬膜外麻酔経験症例数 ０

麻酔実施歴：

実施施設名 マミーローズクリニック2009年4月1日~2019年5月30日 硬膜外麻酔経験症例数 200、吹上マタニティクリニック 2020年10月1日~2024年12月31日　硬膜外麻酔経験症例数 266

講習会受講歴：

「安全な産科麻酔の実施と安全管理に関する最新の知識の修得及び技術 の向上のための講習会」の受講歴：

産科麻酔に関連した病態への対応のための講習会」の受講歴：

「救急蘇生コース」の受講歴：NCPR Bコース

⑦無痛分娩に関わる助産師・看護師について：

1. 無痛分娩研修修了助産師数 3

無痛分娩研修修了看護師数 3

1. 看護師・助産師の中での NCPR 資格保有者数 5
2. 看護師・助産師の中での「救急蘇生コース」の受講歴を有する者の人数：

JCIMELS 1

⑧日本産婦人科医会偶発事例報告・妊産婦死亡報告事業への参画状況：

日本産婦人科医会偶発事例報告への参画：最終報告2023年12月31日

妊産婦死亡報告事業への参画: 最終報告2023年12月31日